

研究公開フォーラム'07

産学官連携をめざして



日時 **11月2日(金)**
14:00～17:00
(交流会 17:00～18:30)

場所 **メルパルク広島 6F**
広島市中区基町6-36
TEL082-222-8501

[主催] 近畿大学工学部、近畿大学工業技術研究所、近畿大学大学院システム工学研究科
近畿大学工学部産学官連携推進協力会

[後援] 中国経済産業局、広島県、広島市、東広島市、呉市、福山市、中国経済連合会、広島商工会議所、東広島商工会議所、呉商工会議所、福山商工会議所、(財)ひろしま産業振興機構、(財)ちゅうごく産業創造センター、(財)くれ産業振興センター(社)中国地域ニュービジネス協議会

“飛翔”
designed by M.Yonehara

入場無料

ごあいさつ

近畿大学は理工系学部を中心とした実学重視の総合大学です。

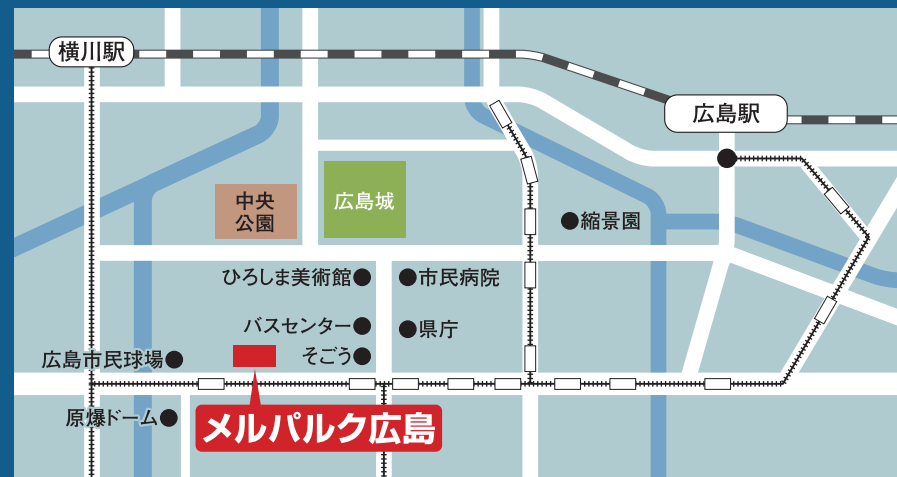
実学とは社会における技術の動向について長期的な視点を持ち、そのための研究・教育に先進的に取り組む姿勢を持ち続けるということです。工学部における研究公開フォーラムは、初期には大学の保有する研究の成果を地元企業の方々に公開し、新規な製品開発の一助になればとの思いから始まりました。

しかし、工学が本来的に実学であることを考えれば、大学自らが将来あるべき社会を想定し、それに向けての技術革新に積極的に取り組まねばならないことは、特に実学を旨とする近畿大学工学部にあっては当然のことです。

幸いにして「近畿大学工学部産学官連携推進協力会」が組織され、企業の方々と交流する場がつけられております。工学部といたしましても企業のご要望、ニーズを的確に把握し、企業や国、県、市とも連携して将来に向かって開発すべき技術をテーマとする研究を立ち上げるような体制作りを進めております。

長期的な展望が必要なものや、近々にも解決すべき技術課題など、産学官が連携して取り組むために、本日は多彩なプログラムを用意いたしました。この研究公開フォーラムにご参加をいただいた皆様方にとって新しい取り組みのきっかけとなればと願っております。

平成19年11月
近畿大学工学部長 椿原 啓

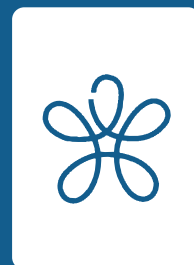


電車を利用
される場合

○JR広島駅(南口・在来線口)から路面電車で約15分
○広島港から路面電車で約30分
※いずれも紙屋町西・紙屋町東電停下車

バスを利用
される場合

○JR広島駅(南口9番乗場バスセンター経由)から約10分
○広島空港からリムジンバスで約60分
※いずれも広島バスセンター下車徒歩約1分



近畿大学工学部
近畿大学工業技術研究所
近畿大学大学院システム工学研究科
近畿大学工学部産学官連携推進協力会

〒739-2116 広島県東広島市高屋うめの辺1番
TEL(082)434-7000(代表) FAX(082)434-7011
※お電話またはFAXを頂く際は、市外局番が同一の地域内でも「082」からおかけください。
<http://www.hiro.kindai.ac.jp/> E-mail:riit@hiro.kindai.ac.jp

プログラム

1 研究成果パネル展示・電子展示 [6F-(2)] 14:00~16:10

- ①パネル展示
 - 工学部教員の研究シーズ、共同研究、受託研究成果
 - 産学官連携推進協会会員企業等の製品紹介、研究成果紹介
 - 工学部教員の発明による出願特許紹介
- ②電子展示
 - 工学部全教員の研究内容紹介
 - PCによる自動プレゼンテーション(会場内設置簡易スクリーンにて)

2 技術相談会 [6F-(2)] 14:00~16:10

工学部教員が企業等のご相談に個別に応じます。

3 共同研究成果発表 [6F-(1)] 15:00~15:30

- 「省エネ型・高効率直噴式ディーゼル機関用噴射ノズルの実用開発」
近畿大学工学部 機械工学科 准教授 玉木 伸茂 氏
- 「携帯電話用静脈認証システムの研究開発」
近畿大学工学部 情報システム工学科 准教授 長谷川 誠 氏

4 産学官連携推進協会会員企業技術発表 [6F-(1)] 15:30~16:10

- 「可搬式プラズマ溶射装置の開発」
中国電力(株) エネルギア総合研究所 発電材料担当研究員 田中 輝夫 氏
- 「拡散接合による樹脂成形金型の製作」
(株)積層金型 専務取締役 山崎 拓哉 氏

5 特別講演会 [6F-(1)] 16:10~17:00

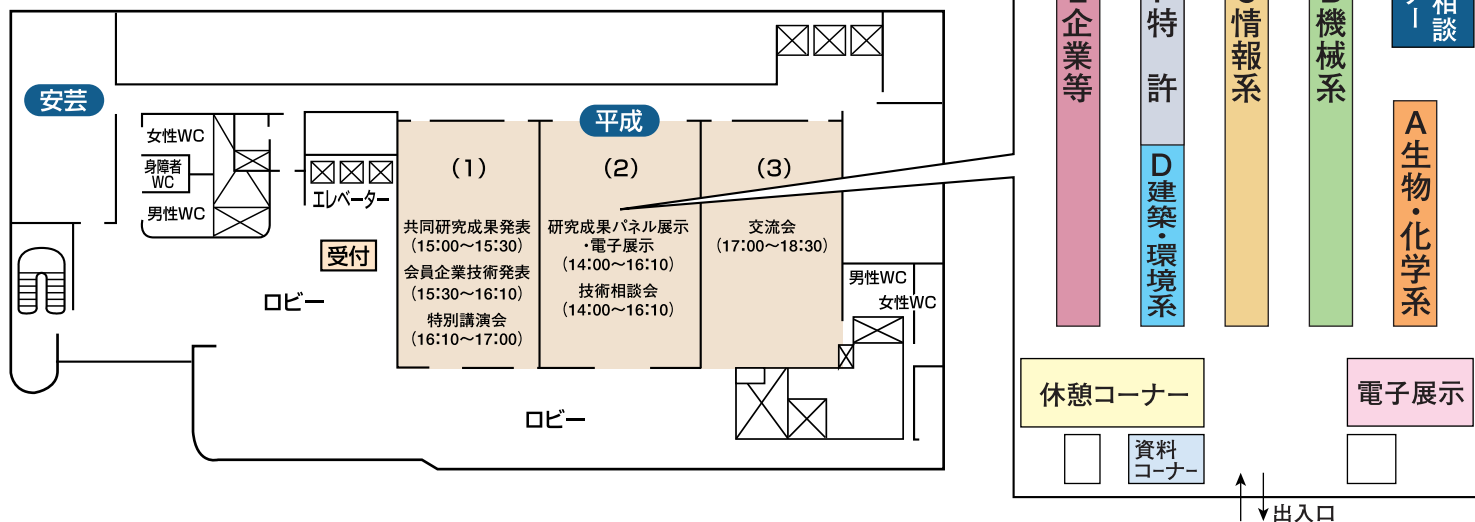
- 「産からみた学, 学から見た産—共同開発の理想と現実—」
近畿大学工学部 知能機械工学科 教授 竹原 伸 氏

6 交流会 [6F-(3)] 17:00~18:30

参加費無料

会場案内図

6F 案内図



パネル展示

	パネルNo.	発表者	展示テーマ
生物・化学系	A-1	芦田 利文	廃棄物の有効利用 ーもみ殻のリン酸化と廃研磨粉を用いた硬化体の作成ー
	A-2	井原 辰彦	螺旋型水流を利用した酸化チタン光触媒水処理技術
	A-3	白石 浩平、杉山 一男、金倉 由美 ^{M2} 、米 保紀 ^{M1} 、トーヨーエイテック(株)	細胞診断・バイオ分子機能化マイクロアレイの調製と応用
	A-4	白石 浩平、杉山 一男、石橋 賢 ^{M2} 、西川ゴム工業(株)	産製品への応用を目的とするバイオ素材ポリ乳酸の物性改質剤の開発
	A-5	白石 浩平、杉山 一男、谷川 将行 ^{D3} 、マナック(株)	生体適合性高分子をセグメントにもつ両親媒性ブロックコポリマーの開発と生医学材料への応用
	A-6	山田 康枝	細胞の増殖、分化における各種生理活性物質の効果の研究及びグルタミン酸受容体に作用するタンパク質の研究
	A-7	仲宗根 薫	極限環境生物の特性を活用した新しいナノバイオテクノロジーの創成
	A-8	山本 和彦	高血圧発症機構の解明をめざし ーSHR (spontaneously hypertensive rat) 血圧調節因子遺伝子解析ー
	A-9	渡邊 義之	加工食品の安定性改善と食品廃棄物の利用
機械系	B-1	西村 公伸	スピーカの振動除去装置
	B-2	京極 秀樹	粉末冶金法による形状記憶素子開発に関する研究
	B-3	角田 勝	可視化技術による流れの解明と産業機器への応用
	B-4	旗手 稔	炭化物粒子を晶出させた低熱膨張球状黒鉛鑄鉄の製造
	B-5	清水 正則	氷片噴射ノズルの実用化研究、第5報
	B-6	玉木 伸茂	省エネ型直噴式ディーゼル機関用噴射ノズルの実用開発ー高圧雰囲気下における間欠噴霧の微粒化特性ー
	B-7	生田 明彦	Ti合金切削温度のモデル化による検討
	B-8	樹野 淳也	自律型ロボットによる環境保全型農業の実現
	B-9	児島 忠倫	工業用ノズルの研究開発
	B-10	奥本 泰久	有限要素法 (FEM)による熱加工シミュレーション
	B-11	和田 宏一	高度溶接技能の伝承と自動化への置換に関する研究
情報系	C-1	竹原 伸	モデルベース開発を適用した空調システムの開発
	C-2	村瀬 晃平	工場作業のためのモーションキャプチャ計測システムの開発
	C-3	中村 一美	脳機能における色彩の効果に関する基礎的研究
	C-4	伊藤 昭夫	現象の可視化と予測シミュレータの開発に関する基礎的研究 ー数学と異分野との連携を視野に入れた学際的な新しい取り組みー
	C-5	出口 幸子、三家本 祥平 ^{M2} 、黒瀬 能幸	音楽情報検索への応用を目指したポピュラー音楽の楽曲分析
	C-6	藤野 貴之	DNSを応用した簡易介護支援システムの研究開発
	C-7	黒瀬 能幸、伊豆蔵 雄喜、五百蔵 達也 ^{B4} 、合田 典子(岡山大学医学部)、住本 哲宏(株)ディジフュージョン・ジャパン)	分娩訓練学習支援シミュレータの開発
	C-8	松富 達夫、木村 有寿、片岡 隆之、大谷 崇	組合せ最適化問題の遺伝的アルゴリズムによる解法
	C-9	小林 規矩男	マルチメディアと仮想空間(バーチャルリアリティ)
	C-10	後藤 昌生	電磁波機能品質の創成要因に関する研究
	C-11	長谷川 誠	携帯電話用静脈認証システムの研究開発
	C-12	木村 有寿、片岡 隆之、大谷 崇、松富 達夫	個体分裂アルゴリズムとその応用に関する研究
建築・環境系	D-1	在永 末徳	環境調和型建築材料の開発
	D-2	高井 広行	魅力あるまちを目指して
	D-3	森村 毅、野村 正人	木造住宅外壁の耐震性付与工法の開発
	D-4	藤井 大地	建築物の構造解析と構造デザイン
	D-5	崔 軍	建物断熱改修の省エネルギー効果に関する簡易評価システムの開発
	D-6	市川 尚紀	太陽熱と雨水で冷暖房する家
企業等	E-1	MHIソリューションテクノロジーズ(株)	触媒評価装置
	E-2	柿原工業(株)	環境対応型『エコメタライジング』技術
	E-3	カワソーテックセル(株)	セラミックスと金属の接合技術
	E-4	(株)呉英製作所	集塵グラインダーの紹介
	E-5	(株)積層金型	拡散接合積層金型の開発と適用事例
	E-6	中国電力(株) エネルギア総合研究所	可搬式プラズマ溶射装置の開発
	E-7	トーヨーエイテック(株)	①MIM金型への表面処理の応用 ②冠状動脈ステントへの表面処理の応用
	E-8	(株)日本クライメイトシステムズ	HVAC新製品の紹介
	E-9	(株)広島情報シンフォニー	製造業より生まれたERP「glovia.easio」の展示
	E-10	東広島市	東広島市の産学連携支援事業
特許	F	工学部教員の発明による出願特許紹介	

注) B4:近畿大学工学部4年 M1, M2:近畿大学大学院博士前期課程1,2年 D3:近畿大学大学院博士後期課程3年